

# 石 二 小 だ よ り

第49号 平成29年12月6日(水)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】[http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=145](http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145)

平成29年度重点目標「しっかり聞いて、しっかり話そう」

## おいしいご飯が炊けたかな？

5年生が、家庭科の授業でご飯を炊く調理実習に取り組みました。米をといで、それに合わせた水を鍋に入れて、ガスコンロで炊きました。今は、ほとんどの家庭では、電気やガスなどの炊飯器を使ってご飯を炊くことがほとんどだと思いますが、自分たちで時間を計って火加減を調節しながらご飯を炊くのは、結構難しいものです。子どもたちは、コンロの鍋とにらめっこしながら、おいしい



ご飯ができあがるように頑張りました。6月の宿泊活動では羽釜を使ってご飯を炊きましたが、その時は薪を使っての作業だったので、それを思えば今回の方が楽だったかもしれません。5年生は、自分たちで炊いたほかほかのご飯に鮭やツナ、昆布などを入れて、おにぎりにして食べました。格別においしかったことでしょう。

## 万が一の災害に備えて



11月28日(火)には南相馬消防署の高倉さん、桜井さん、小野田さんにお越しいただき、避難訓練を行いました。今回は大きな地震が起こり、それに伴って火災も発生したという想定で訓練をしました。学校中に非常ベルが響き渡り、放送での指示を聞いてから、ハンカチを口に当てて全校児童が校庭に避難しました。消防署の高倉さんからは、災害はいつ起こるか分からないことを念頭に置いて、いつ

も大人が身近にいるとは限らないので、放送での指示をよく聞くこと、一度外に出たら絶対に建物の中に戻らないことなどを教わりました。寒くなってきて、暖房器具を使う機会が増えています。寝る前や出かける前には、ストーブやこたつ、ガスなどの消火を確認してほしいというお話もありました。たばこによる火災も増えてきていることですので、大人も十分に注意しましょう。

《裏面もご覧ください》

- ◆ 石神中学校のある先生からいただいた資料です。小学生でも同じような場面があるのではないのでしょうか。参考になればと思い掲載しました。

よく人の悪口を言う人がいます。「悪口は言わない方がいい。」と言っても、その人にはなかなか分かってもらえません。

悪口を言う時の状況を思い出してください。悪口は独り言で言うのではなく、必ず目の前にそれを伝えている相手があります。人に言いたいのです。その相手は、仕方なく相づちを打ったり、黙って聞いていたりするはず。「その悪口を聞きたくない。」と言って立ち去ったり、「聞きたくないからやめて。」と止めたりすることは、ほとんど無いでしょう。しかし、目の前で悪口を聞いている人は、その悪口を言っている人に対して表面的に相づちを打っていても、少しずつ次第に心を閉ざしていくのです。悪口を言っている人は、目の前の人は味方で、同じ悪口をきくと感じているから反論もせず、黙って聞いているのだと思っています。そして、さらに悪口がエスカレートし、興奮状態になることもあります。しかし、悪口を聞いている人は、実は「そこにいない人の悪口をこの人は平気で言うのだから、もし自分がいない所では、この人はもしかしたら自分のことも平気で悪く言うに違いない。そういう可能性がある。」ということに少しずつ気づき始めます。

例えば、AさんがBさんに対して、Cさんの悪口を言っているとします。Aさんは、気持ちよくCさんの悪口を言っています。Bさんは黙って聞いているので、Aさんは「きっとBさんも同じことを考えているに違いない。」と思い、安心してCさんの悪口を言い続けます。しかし、実際にAさんとBさんのCさんに対する思いの度合いが全く同じかどうかは、分かり得ないことです。さて、Bさんの立場で考えてみると、Bさんは「Cさんは、今この席にいない。そのいない席で、AさんはCさんの悪口を言っている。ならば、今度はAさんとCさんがあった時、あるいはAさんとDさんが同席した時、私（B）の悪口も言われるかもしれない。」と思うのです。これは、当然心配されることです。いない所で第三者の悪口を言う癖を持っている人は、相手が誰であろうと同じことを繰り返す可能性があります。ですから、AさんはBさんの悪口を言っていないとしても、CさんやDさんの悪口を言えば言うほど、Bさんの心をどんどん遠ざけてしまうことになります。Bさんは黙っていますが、次第にAさんを少しずつ警戒するようになり、Aさんとの付き合いに距離を置き離れていこうとします。なぜならば、Aさんがどのようなことを好み、どのようなこと嫌うのか、その全部を完全に把握しきれないからです。BさんにとってAさんというのは、いつ、ふとしたきっかけで嫌われることになるかもしれない「怖い」存在になります。他の所で自分が悪口を言われるかもしれないという存在に、Aさんがなってしまうのです。

ですから、安心して人の悪口を言うということは、実はそれを聞いている相手が、やがて自分に心を閉ざし、どんどん遠ざかっていくのだということを知っておく必要があります。人の悪口を言うのは良いことではありませんし、それは長い目で見て、一人一人友人を失っていくことになります。「悪口」は、全て種まきです。種をまいたことを本人が忘れた頃に、そこそこで花を咲かせます。その花とは「孤独」＝友人がいなくなること。気持ちよく言っている毎日の悪口が、あなたをどんどん孤独にしていけるのです。